

第31回 鳥取県図書館大会

“〇〇”と図書館 ～図書館の明日を^{えが}く～

生活、仕事、学校、趣味の楽しみや居場所、私たちにとって、図書館はどのような場面で必要な存在なのでしょう。 「“〇〇”と図書館」というフレーズで始まる各プログラムへの参加を通じ、自分自身にとって、そして社会にとって、今後図書館がどういった存在であるべきなのかを参加者皆で考えます。

日時 令和8年7月30日(木) 10時～16時30分(受付9時30分～)

会場 岩美町中央公民館 いわみんホール、研修室1～5
 (住所: 岩美町浦富1038-6 電話: 0857-72-0510)
 ※駐車場には限りがありますので、公共交通機関の利用や乗り合わせでの来場にご協力ください。

参加費 鳥取県図書館協会員: 無料 会員外: 500円(当日入会可)

★要申込★
 【会場参加】
 定員 300名
 【オンライン参加】
 最大 300名
 後日配信なし
 個人視聴のみ

基調講演 「“あそび”と図書館 ～真庭市立図書館での挑戦と実験～

10:15～11:45

講師: 西川 正 氏 (真庭市立中央図書館長・NPO法人ハンズオン埼玉副代表理事)



【プロフィール】

学童保育所、出版社、NPO支援センター等を経て、2005年、ハンズオン埼玉を設立。「おとうさんのヤキイモタイム」キャンペーンや「トークフォークダンス」などコミュニティを育むさまざまなプロジェクトを提案。まちづくりや子育て支援の研修等の講師やファシリテーターとして活動。元恵泉女子学園大学特任准教授。立教大学・大妻女子大学等で非常勤講師。著書に『あそびの生まれる時「お客様」時代の地域活動コーディネーション』(ころから)等。

事例発表 「“わたしたち”と図書館 ～図書館応援団の活動報告～

13:15～14:45

鳥取県では、図書館の魅力化、活性化を目指して活動する「図書館応援団」が増えています。その想いや取組をご紹介します。いただき、図書館と利用者との関係性、公共施設としての図書館の今後のあるべき姿について考えます。

発表団体: ちえの森応援隊(智頭町) 日野町図書館友の会(日野町)
 江府町図書館友の会(江府町) 南部町立図書館応援団なんぶらりー(南部町)

分科会 15:00～16:30

<p>1 “コミュニティ”と図書館 ～新館整備後に見えてきたこと～</p> <p>発表者: 嘉賀 収司 氏 (境港市民図書館長) 松本 邦裕 氏 (岩美町中央公民館次長) 角田 有希子 氏 (南部町立図書館長)</p>	<p>3 【ワークショップ】“手作り絵本”と図書館 ～絵本を創る楽しみを味わおう ○・△・□から生まれる世界～</p> <p>講師: しまだ ようこ 氏 (絵本作家) 定員: 25名、材料費300円を当日お支払いいただきます。 持ち物: スティックのり、ボンド、色鉛筆などの描画材を各自ご持参ください。</p>
<p>2 “読書推進”と図書館 ～朝読書再考(最高) 岐路に立つ取組の未来を展望する～</p> <p>発表者: 砂場 路子 氏 (鳥取市立稲葉山小学校校長) 西口 美智子 氏 (鳥取市立稲葉山小学校学校司書) 村中 ひろみ 氏 (鳥取市立気高中学校教頭) 北村 正美 氏 (鳥取市立気高中学校学校司書) 宮本 知子 氏 (鳥取県立岩美高等学校司書教諭)</p>	<p>4 【NPO法人本の学校主催】 “出版”と図書館～地域の記憶を残すために～</p> <p>講師: 南陀楼 綾繁 氏 (ライター・編集者) 意見交換コーディネーター: 柴野 京子 氏 (NPO法人本の学校理事長・上智大学文学部新聞学科教授)</p>

〈問合せ先〉 鳥取県図書館協会事務局 (鳥取県立図書館内)

電話: 0857-26-8155 / ファクシミリ: 0857-22-2996 / メール: toshokan@pref.tottori.lg.jp

主催: 鳥取県図書館協会 共催: NPO法人本の学校、鳥取県学校図書館協議会、鳥取県公共図書館協議会、鳥取県教育委員会

後援: 鳥取県書店商業組合、公益社団法人日本図書館協会

